

第94回未来医療セミナー

2016 4/26(火) 18:00~19:00

大阪大学医学部附属病院
オンコロジーセンター棟5階 キャンサーボードホール

癌ゲノム、NGS、 Precision Medicineにむけて

モデレーター 菊池 章(大阪大学大学院医学系研究科)



中川 英刀

理化学研究所統合生命医科学研究センター
ゲノムシーケンス解析研究チーム
チームリーダー

癌は、正常細胞のゲノムに様々な異常が蓄積し、分子経路が破綻した結果無秩序な細胞増殖をきたす「ゲノムの疾患」である。DNAシーケンス技術の革命的な進歩(次世代シーケンサー:NGS)により、癌ゲノムの約60億の塩基配列をすべて解読することが可能となり、これにより、癌発生や進展の機構が解明され、ゲノム情報を活用して新たな治療法やPrecision Medicineのための診断方法が開発されてきている。国際共同プロジェクトであるICGC/TCGAでは癌変異データベースの構築が急ピッチで進められており、この中で我々は肝臓がんを中心に大規模なWGS(全ゲノムシーケンス)解析を行ってきた。本講演では、癌ゲノム解析とNGS技術について概要し、これらの臨床展開=がんのPrecision Medicineについても発表する。

主催: 大阪大学大学院医学系研究科

共催: 未来医療交流会

後援: 日本医療研究開発機構 橋渡し研究加速ネットワークプログラム

大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」

大阪大学医学部附属病院未来医療センター